



パラシュート学習

学習方法には、様々なものがある、人それぞれ自分にあった学習方法を持っているものです。たとえば、私の場合は、とにかく夜のシーンと静まり返った中であるのが好きでした。そんな中で数学の問題を解いていると、ひとつの問題に何時間もかけて、知らない間に時間が過ぎることもよくありました。

最近、私がみなさんにおすすめしているのが「パラシュート学習」です。「パラシュート学習」というのは、自分がわからなくなったところの近くにパラシュートで空から降りてくるように着地し、その周辺の学習（復習）をして、苦手なところを克服していこうとする学習方法です。

何をやるにも基本は大切だといわれます。基本を身につけるには、たいへんな時間とそれを乗り切るだけの忍耐力が必要となってきます。それに、人間はつつい楽な方楽な方へと考えを持っていきがちです。しかし、楽なことばかり繰り返していてもなかなか苦手の克服にはつながりません。そこで「パラシュート学習」です。

この「パラシュート学習」を実行する上で何が大切になってくるかという、自分自身が「いいたいところがわかっていないか」というのを理解することです。何がわかり、何がわかっていないかがはっきりしてくれば、「パラシュート学習」もより効果的になってきます。

自分で自分のわからないところを確認するというのは、自分にとっては、プライドも傷つき、何か情けない気持ちになるものですが、ここで、苦しいことに耐える気持ちとかチャレンジしていこうとする気持ちが、将来のあなた方に必ず役に立ってくるのです。中学校で学ぶ学習は、どの教科もはっきり言って重要なところばかりです。中学校で学んだ知識は、大人になっても断片的ではありますが覚えているものです。ちなみに高等学校へ進学するにあたって普通科を希望した人は、今とさほど変わらない日々が続くこととなります。ここでくじけることなく、強い心でのりきっていきましょう。

先週、3年生の数学の授業に行ったときの一生懸命さには感心させられました。与えられた問題を解くまなざしや「ああ〜」とつぶやくアハ体験の連続。わからないときは、素直に「ええ〜わからんわ」と声に出す姿を見てもっとのびしてあげたい。できるようにしてあげたいと思いました。これからもみなさんの学びの成長を先生方とともに助けたいと思いますからね。



『5つの心』

- 「はい」と言う 素直な心
- 「すみません」と言う 反省の心
- 「おかげさまで」と言う 謙虚な心
- 「させていただきます」と言う 奉仕の心
- 「ありがとうございます」と言う 感謝の心



心は見えませんが、詫間中学校には「5つの心」を持った生徒や教職員がたくさんいます。